



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 日本電子材料株式会社

コード番号 6855

URL <http://www.jem-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 風間 悦男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門統括部長

(氏名) 足立 安孝

TEL 06(6482)2007

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,861	10.8	218	△ 29.2	139	△ 38.7	△ 201	—
23年3月期第2四半期	5,288	33.7	308	—	227	—	91	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △ 205百万円(—%) 23年3月期第2四半期 △ 8百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△ 19.05	—
23年3月期第2四半期	8.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	14,027	8,915	63.6
23年3月期	14,498	9,174	63.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 8,915百万円 23年3月期 9,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,100	2.4	220	△ 65.0	120	△ 78.2	△ 270	—	△ 25.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	10,604,880株	23年3月期	10,604,880株
24年3月期2Q	15,284株	23年3月期	15,264株
24年3月期2Q	10,589,602株	23年3月期2Q	10,589,666株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・当社は、平成23年11月16日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、先進国の成長の鈍化や財政と金融の不確実性の増幅により、景気に対する減速感が強まりました。国内経済につきましても、東日本大震災により寸断したサプライチェーンが徐々に回復する途上において、急激に進行した円高の影響等により、景気回復に対する不透明感が増しました。

当社グループの主たる事業分野である半導体市場は、従来型パソコンや薄型テレビなどのデジタル家電の需要減少によってデバイス価格が下落するなど、成長は鈍化しました。

このような事業環境のもと、当社グループといたしましては、スマートフォン向け等に需要が拡大しているNAND型フラッシュメモリ向けを中心に、ロジックIC向けにつきましても、Cタイププローブカードをベースに、同時多数個測定市場におけるシェアアップを図る等、積極的な拡販を行いました。

その結果、売上面に関しては、アドバンスプローブカード（Vタイププローブカード、Mタイププローブカード）を中心として売上を伸ばすことができました。

利益面につきましては、価格競争の激化など厳しい市場環境となりましたが、原価低減等を推し進めたことにより、営業利益は期初の予想を若干上回る結果となりました。一方、経常利益や四半期純損失につきましては、為替相場における急激な円高傾向による為替差損の計上等により厳しい結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は58億6千1百万円（前年同期比10.8%増）、営業利益は2億1千8百万円（前年同期比29.2%減）、経常利益は1億3千9百万円（前年同期比38.7%減）、四半期純損失は、繰延税金資産の一部取崩しにより、法人税等調整額を計上したこと、および退職金制度の移行による特別損失の計上により、2億1百万円（前年同期は四半期純利益9千1百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億7千万円減少し、140億2千7百万円となりました。

これは主として、現金及び預金が1億6千6百万円増加いたしましたが、有価証券が6億1千2百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億1千2百万円減少し、51億1千1百万円となりました。

これは主として、支払手形及び買掛金が4億1千7百万円増加いたしましたが、短期借入金が3億円、役員退職慰労引当金が3億6千9百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億5千8百万円減少し、89億1千5百万円となりました。

これは主として、利益剰余金が2億5千4百万円減少したこと等によるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、3億1千9百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末には24億5千6百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、3億9千8百万円（前年同期比28.2%増）となりました。

これは主として、役員退職慰労引当金の減少額3億6千9百万円等による減少要因があったものの、減価償却費3億5千6百万円、仕入債務の増加額4億1千7百万円等による増加要因があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は、4億6千5百万円（前年同期は2億5千7百万円減少）となりました。

これは主として、有価証券の取得による支出67億1千1百万円、有形固定資産の取得による支出1億5千7百万円等による減少要因があったものの、有価証券の売却による収入73億2千8百万円等による増加要因があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、5億4千2百万円（前年同期比63.4%減）となりました。

これは主として、短期借入れによる収入37億円による増加要因があったものの、短期借入金の返済による支出40億円、社債の償還による支出1億円等による減少要因があったことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月12日に公表いたしました通期業績予想を変更いたしました。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,373	2,539
受取手形及び売掛金	4,178	4,274
有価証券	2,431	1,819
商品及び製品	173	106
仕掛品	350	294
原材料及び貯蔵品	748	851
その他	590	623
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	10,843	10,507
固定資産		
有形固定資産	2,850	2,726
無形固定資産	243	213
投資その他の資産		
その他	560	582
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	559	581
固定資産合計	3,654	3,520
資産合計	14,498	14,027
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,930	2,347
短期借入金	900	600
1年内償還予定の社債	200	200
1年内返済予定の長期借入金	91	91
未払法人税等	37	39
その他	594	678
流動負債合計	3,753	3,957
固定負債		
社債	500	400
長期借入金	201	151
役員退職慰労引当金	464	95
退職給付引当金	15	109
その他	388	398
固定負債合計	1,570	1,154
負債合計	5,323	5,111

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	983	983
資本剰余金	1,202	1,202
利益剰余金	7,764	7,509
自己株式	△15	△15
株主資本合計	9,934	9,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	△0
為替換算調整勘定	△761	△764
その他の包括利益累計額合計	△760	△764
純資産合計	9,174	8,915
負債純資産合計	14,498	14,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	5,288	5,861
売上原価	3,740	4,331
売上総利益	1,547	1,529
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	297	302
役員退職慰労引当金繰入額	10	2
研究開発費	393	437
貸倒引当金繰入額	—	0
その他	537	569
販売費及び一般管理費合計	1,239	1,311
営業利益	308	218
営業外収益		
受取利息	14	7
その他	25	17
営業外収益合計	39	25
営業外費用		
支払利息	20	13
持分法による投資損失	12	7
為替差損	80	75
その他	5	7
営業外費用合計	120	104
経常利益	227	139
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5	—
合弁解消関連費用	94	—
退職給付制度改定損	—	159
特別損失合計	99	159
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	128	△19
法人税、住民税及び事業税	67	76
法人税等調整額	△29	106
法人税等合計	37	182
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	91	△201
四半期純利益又は四半期純損失(△)	91	△201

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	91	△201
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	△0
為替換算調整勘定	△84	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	3
その他の包括利益合計	△99	△3
四半期包括利益	△8	△205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8	△205
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	128	△19
減価償却費	377	356
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6	93
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3	△369
売上債権の増減額(△は増加)	△166	△97
たな卸資産の増減額(△は増加)	△131	17
仕入債務の増減額(△は減少)	77	417
その他	71	76
小計	359	475
利息及び配当金の受取額	21	10
利息の支払額	△20	△13
法人税等の支払額	△50	△72
営業活動によるキャッシュ・フロー	310	398
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△6,499	△6,711
有価証券の売却による収入	6,065	7,328
有形固定資産の取得による支出	△209	△157
有形固定資産の売却による収入	1	5
投資有価証券の取得による支出	—	△100
投資有価証券の売却による収入	—	0
定期預金の預入による支出	△1,437	△83
定期預金の払戻による収入	1,937	237
信託受益権の取得による支出	△559	△532
信託受益権の償還による収入	476	512
その他	△31	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△257	465
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	8,600	3,700
短期借入金の返済による支出	△9,841	△4,000
長期借入金の返済による支出	△49	△49
社債の償還による支出	△100	△100
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△52	△52
リース債務の返済による支出	△37	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,482	△542
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,463	319
現金及び現金同等物の期首残高	4,114	2,136
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,651	2,456

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。